

7章 NACCS パッケージソフト・デジタル証明書について

1 第7次 NACCS パッケージソフトの総合運転試験用から本番用へのバージョンアップについて

2025年10月3日(金)午後以降、総合運転試験フェーズ4開始前までに、パッケージソフトを総合運転試験版から本番用にバージョンアップを行ってください。総合運転試験版を既にインストールしている場合は、10月3日(金)午後以降に同試験版を起動することにより、基本的には自動起動で本番用パッケージソフトにバージョンアップされます。パッケージソフトのオプション設定にて、バージョンアップ設定を「手動」に変更している場合は、下図に示す手動起動のバージョンアップを実施してください。バージョンアップの確認については、メニューバーの色が青色に変更されていること、画面下部ステータスバーの表示が「本番環境」に変更されていることで確認をお願いします。

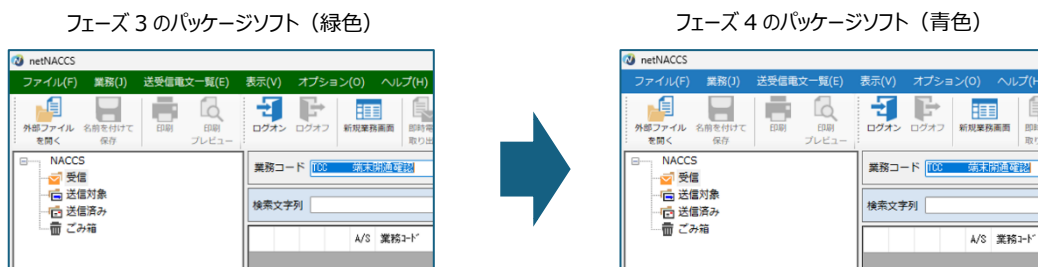


図 7-1 パッケージソフトメイン画面

手動起動の方法は下図のとおりです。

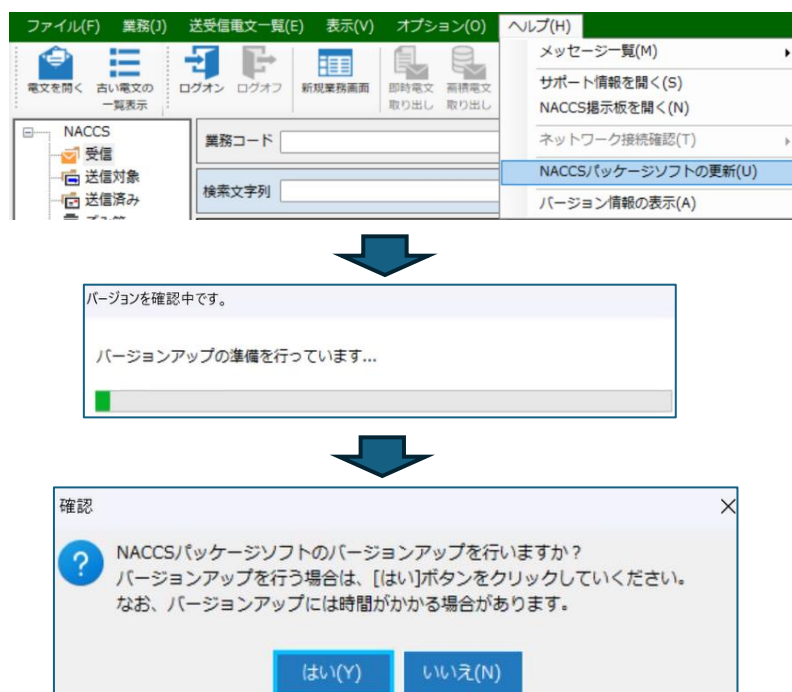


図 7-2 パッケージソフト手動バージョンアップ方法

なお、バージョンアップを行うと、総合運転試験期間中に送受信した電文(帳票)は全て削除がされます。必要な場合にはあらかじめ外部ファイルとして保存していただく必要がありますのでご注意ください。

また、総合運転試験に全く参加していない方(第 7 次 NACCS 用のパッケージソフトをインストールしていない場合)は、必ずフェーズ 4 開始前までに、第 7 次 NACCS パッケージソフト(本番用)とデジタル証明書取得ツール(netNACCS をご利用の方)のインストールと第 7 次用デジタル証明書の取得を行ってください。その後、総合運転試験フェーズ 4 において TCC 業務で導通確認を行ってください。

2 第 6 次 NACCS パッケージソフト・デジタル証明書のアンインストールについて

第 7 次 NACCS 更改後は第 6 次 NACCS で使用していた NACCS パッケージソフトおよびデジタル証明書インストールツールは利用できません。第 7 次 NACCS 更改後に電文等の移行が完了しましたら、お客様の任意のタイミングにて第 6 次 NACCS パッケージソフトおよびデジタル証明書インストールツール _NET4.6 版をアンインストールしていただくようお願いいたします。

第 7 次 NACCS 更改後にアンインストール方法については NACCS 掲示板に掲載を行う予定です。
なお、アンインストールツールの提供はございません。

3 メール処理方式(GW 配下用パッケージソフト)について

第 7 次 NACCS では、自社システムのゲートウェイ配下のメール処理方式(GW配下用パッケージソフト)の提供を終了します。

第 6 次 NACCS 終了まで同パッケージソフトを利用して業務を行った場合、INQ 型電文の帳票は業務実施後すぐに第 6 次 NACCS で出力されます。EXZ 型電文の帳票は、後続業務が第 7 次 NACCS で実施された場合、第 7 次 NACCS のメール型宛先管理設定で設定された出力先に配信されます。必要に応じてメール型宛先管理設定にて宛先管理設定の追加の対応が必要です。

なお、NACCS センターで帳票の再配信等の対応はできませんので、更改日前にメール処理方式のパッケージソフトの使用を停止し、他の処理方式(例えば、netNACCS)の利用に切り替えて業務を実施してください。

4 パッケージソフトのオプション設定の移行方法について

第 6 次 NACCS パッケージソフトでオプション設定された項目については「オプション設定のインポート/エクスポート」の機能により第 7 次 NACCS パッケージソフトへ設定の移行が可能です。

(1)第 6 次 NACCS におけるオプション設定のエクスポート方法

パッケージソフトの「オプション」>「設定」を開き画面左下の「オプション設定のインポート/エクスポート」を押下し「オプション設定をエクスポートする」を選択します。オプション設定のタブごとにエクスポートしたい項目を選択できます。

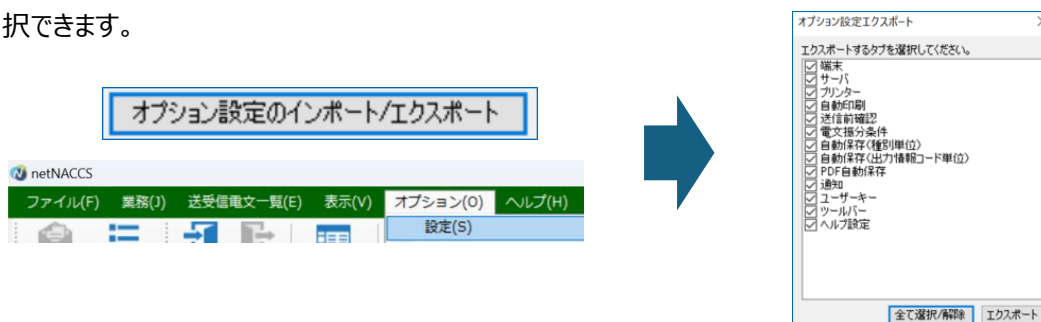


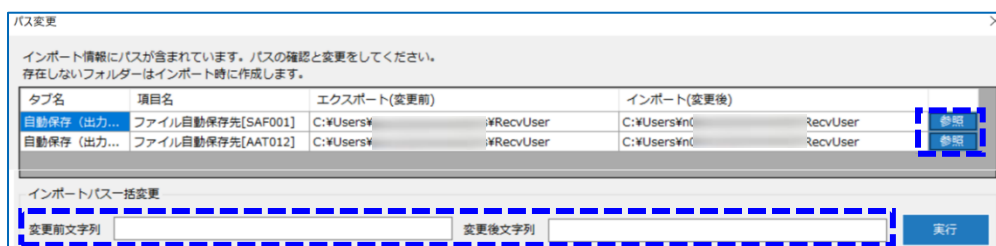
図 7-3 パッケージソフトのメイン画面とオプション設定エクスポート画面

(2)第 7 次 NACCS におけるオプション設定のインポート方法

上記同様「オプション設定のインポート/エクスポート」を押下し「オプション設定をインポートする」を選択します。(1)で出力された zip ファイルを選択しインポートを行います。

※全てのタブの設定をエクスポートしていた場合でも必要なタブごとにインポートすることができます。

その後、次スライドのようにパス変更の画面が表示されますので必要に応じて保存先のフォルダパスを変更してください。



タブ名	項目名	エクスポート(変更前)	インポート(変更後)
自動保存 (出力...)	ファイル自動保存先[SAF001]	C:\Users\%*RecvUser	C:\Users\%*RecvUser
自動保存 (出力...)	ファイル自動保存先[AAT012]	C:\Users\%*RecvUser	C:\Users\%*RecvUser

インポートパス一括変更

変更前文字列: 変更後文字列: [実行]

図 7-4 インポート時のフォルダパス変更画面

●留意点

・「オプション設定のインポート/エクスポート」はログオフの状態で行ってください。ログオン状態では使用できません。

・7 次から追加となる個人用入力チェック機能とオートコンプリート機能は 7 次側で直接設定してください。

・6 次と 7 次で電文を保存するフォルダを変更する場合はフォルダパスを設定しなおす必要があります。

・6 次と 7 次で電文を保存するフォルダを変更しない場合は 6 次用電文と 7 次用電文が混在します。

総合運転試験期間中は電文の混在にご注意ください。

※個別の変更は各項目右側の「参照」、一括変更は下部の欄に変更前フォルダパスと変更後フォルダパスを入力してください。(上図破線枠参照)

フォルダ名に「v6」の記載があっても「v7」に自動変換はされません。

5 メール処理方式から netNACCS、インタラクティブ処理方式へのオプション設定の引継ぎについて

メール処理方式のパッケージソフトから netNACCS へ変更される場合も一部設定を除き、基本的にオプション設定の引継が可能です。(6 次メール⇒6 次 net/インタ、6 次メール⇒7 次 net/インタの両方可能)

(1)メール処理方式のパッケージソフトにおけるオプション設定の移行方法

移行方法は 4 の場合と同様、「オプション設定のインポート/エクスポート」機能をご利用ください。

(2)netNACCS、インタラクティブ処理方式におけるオプション設定インポートの際の注意事項

オプション設定のサーバタブでメール処理方式のみに存在している、「ゲートウェイサーバ設定」、「自動送受信」、「一度に受信する電文の件数」の項目については netNACCS、インタラクティブ処理方式では設定できませんので移行できません。(図 7-5 破線枠参照)

通信に必要な情報を設定します。

接続先サーバ 本番環境

☒ ゲートウェイサーバを経由する ゲートウェイサーバの設定

トレース
☐ 通信トレースを出力する

自動送受信
☐ 自動送受信を有効にする
 送受信間隔 3 分 動作 送受信 送信 受信

一度に受信する電文の件数 9999 件

プロキシサーバ(管理資料情報取出サーバ接続用)
☒ インターネットオプションの設定を使用して接続する
☐ プロキシサーバを使用せず、直接接続する
☐ 指定したプロキシサーバを使用して接続する
 プロキシサーバ名 ポート 8080
☐ プロキシサーバ認証を行う
 ユーザー名 パスワード

図 7-5：メール処理方式のオプション設定「サーバ」タブ

6 パッケージソフトに保存されている電文の移行方法について

(1) 総合運転試験で送受信した電文の第 7 次 NACCS での取り扱いについて

総合運転試験期間中に送受信した電文については、外部ファイル保存しておくことにより第 7 次 NACCS で利用が可能です。

一方、フェーズ 4 開始前のバージョンアップで本番用にアップデートが行われると、パッケージソフトに格納されている全ての電文が削除されますので、外部ファイル保存が必要な電文は本バージョンアップ前に保存をお願いします。

本番用にバージョンアップ後に外部ファイルを取り込む場合は次の(2)に記載の方法で実施してください。

(2) 第 6 次 NACCS で保存した電文の第 7 次 NACCS での取り扱いについて

ア 送信電文について

第 7 次 NACCS で項目追加がある業務において第 6 次 NACCS の電文を第 7 次 NACCS で利用したい場合は、**2025 年 6 月 30 日以前**に第 6 次 NACCS で送信用外部ファイル保存したファイルは、パッケージソフトの自動変換処理機能により第 7 次 NACCS で利用する際に項目ずれすることなく展開が可能です。

※項目追加によって影響がある業務は表 7-1 を参照。

7 月 1 日以降に第 6 次 NACCS で保存した 6 次用の送信用外部ファイルは自動変換処理されず、第 7 次 NACCS の電文として扱われる為、第 7 次 NACCS で取り込んだ際に項目ずれが発生いたします。

また、7 月 1 日以降にファイルを上書き保存した場合も同様に項目ずれが発生いたします。

表 7-1：7 次 NACCS で項目追加によって影響がある業務一覧

業務コード	業務名	業務コード	業務名	業務コード	業務名
ACL01	ACL情報登録(コンテナ船用)	IDI	輸入申告等一覧照会	MSF02	通関系関連省庁添付登録(動物検疫所、植物防疫所)
ACL02	ACL情報登録(在来船・自動車船用)	IES	輸出申告等一覧照会	MWA	石油製品等移出(総保出)輸入申告事項登録
AMA	修正申告事項登録	IIN	包括保険照会	MWA01	石油製品等移出(総保出)輸入申告変更事項登録
DCC	内国貨物運送申告	IUE	別送品輸出申告一覧照会	RSS01	輸入コンテナ引取予定情報通知(ID通知)
DCE	内国貨物運送申告(承認)変更	IPA	輸入植物検査申請事項登録	SIR	S/I情報登録
EPA	輸出植物検査申請事項登録	JAJO1	外為法 申請者届出登録	SWA	シングルウィンドウ輸入申告事項登録
EPD	輸出植物検査申請事項登録(再輸出)	KKA	関税等更正請求事項登録	TKA01	一括特例申告事項登録
HKA	包括保険確認登録	MIC	輸入マニフェスト通関申告	TKB01	一括特例申告事項呼出し
IDA	輸入申告事項登録	MIE	輸入マニフェスト通関申告変更	UOM	メール型宛先管理登録
IDA01	輸入申告変更事項登録	MSF01	通関系関連省庁添付登録(検疫所(食品))	VAA	バンニング情報追加

【第 6 次 NACCS パッケージソフトの操作】

送信電文を PC へ外部ファイル保存する方法

パッケージソフトの「送信済み」フォルダを開き、保存したい電文を選択し右クリックで「名前を付けて保存」を選択します。

ファイル名を任意に設定して保存できますが、複数の電文を選択の場合は保存した際にファイル名末尾に 1,2,3…と連番が付与されます。

※電文のエクスポート/インポート機能を利用した場合も電文の保存された日付によっては自動変換処理されず、項目ずれにより正しく展開できませんのでご注意ください。

【第 7 次 NACCS パッケージソフトの操作】

(ア) 外部ファイル保存した送信電文を第 7 次 NACCS で展開する方法

メインメニューの「ファイル」>「外部ファイルを開く」>対象のファイルを選択しますと送信電文の情報が反映された状態で該当業務の業務画面が開きますので 7 次用ファイルとして展開可能です。

(イ) 第 7 次 NACCS で展開した送信電文に項目追加分を追記して保存する方法

(ア)で展開したファイルをもとに 7 次で追加される項目を入力し、総合運転試験期間中に送信し、送信電文を 7 次用の外部ファイルとして保存します。総合運転試験期間中に 7 次用の外部ファイルとして保存しておくことで 10 月の 7 次更改後の業務をスムーズに行うことができます。

イ 受信電文(受信帳票電文・処理結果電文・画面電文)について

受信した帳票電文は第 6 次 NACCS のパッケージソフトで外部ファイル保存や電文のエクスポートをした場合、帳票電文生成時点の出力レイアウトのまま第 7 次 NACCS のパッケージソフトで表示が可能です。

【第 6 次 NACCS パッケージソフトの操作】

(ア) ファイル単位で受信電文を PC へ外部ファイル保存する方法

パッケージソフトの受信フォルダを開き、保存したい電文を選択し右クリックで「名前を付けて保存」を選択し、.txt ファイルとして保存します。

複数選択した場合は保存した際にファイル名末尾に 1,2,3…と連番が付与されます。

(イ) 複数受信電文を 1 ファイルで PC へ外部ファイル保存する方法

複数電文をまとめて 1 ファイルとして保存したい場合は受信フォルダで複数電文を選択しパッケージソフトの「送受信電文一覧」>「データ管理」>「電文のエクスポート」を開き、.dat ファイルとして保存します。

※.dat ファイルと.idx ファイルの 2 種類のファイルが作成されますので、インポートする際は両方のファイルを同じフォルダに配置してください。なお、インポート選択時には.dat ファイルのみを選択します。

【第 7 次 NACCS パッケージソフトの操作】

外部ファイル保存した受信電文を第 7 次 NACCS で展開する方法

.txt ファイルとして外部ファイル保存する場合は「送受信電文一覧」>「データ管理」>「外部ファイルから受信電文を追加」を開き電文を選択します。

.dat ファイルとして保存する場合は下図のフローとなります。



図 7-6 複数受信電文を 7 次 NACCS に展開する場合のフロー